

臨床研究のお知らせ

研究課題名：

「フェンタニル舌下錠の適正使用に向けた実態調査に関する研究」

1.研究内容

2013年12月より、国内において、医療用麻薬を定期的に服用中の患者さんに対して、突出痛(一時的にあらわれる強い痛み)をやわらげることを目的に、「アブストラル舌下錠」という舌の下の奥の方で溶かして効果があらわれる舌下錠が使用できるようになりました。

しかしながら、このお薬は、痛みの強さに応じて1回の使用量を調節する必要があることや、口腔乾燥などの口腔環境の変化により、お薬が舌の下で溶けないために、お薬の効果が十分にあらわれていないことがあります。

そこで、我々は、病院の薬剤指導記録の情報をもとに、これまでに、このお薬が使用された患者さんにおいて、お薬の効果や重大な副作用が出ていないかを明らかにすることを目的に調査研究を行います。

2.対象

2014年4月1日～2017年3月31日までの期間中に、羽島市民病院にて、アブストラル舌下錠が開始された患者さんが対象となります。

3.研究の方法について

薬剤指導記録の情報をもとに調査を行い、アブストラル舌下錠を使用時のお薬の効果や重大な副作用が出ていないかを調査します。ただし、氏名や住所のような個人が特定できる情報収集は行いません。

今回の研究で得られた調査結果は、学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、対象となる方の個人情報に関するものが公表されることは一切ありません。

2015年7月

愛知学院大学薬学部 臨床薬剤学講座

研究実施責任者 山村恵子

住所 〒464-8650 名古屋市千種区楠元町 1-100

電話 052-757-6766